



地域（亀山市）と連携の取れた三重県づくり

三重県議会議員

県政レポート

長田たかひさ

2025年10月
No.67



事務所

〒519-0124 亀山市東御幸町233-2
TEL 0595-82-8700 FAX 0595-82-8775
ホームページ <http://www.enjoy-nagata.jp/>

所属委員会等

- 予算決算常任委員会 委員
- 医療保健子ども福祉病院常任委員会 委員
(医療保健部、子ども・福祉部、病院事業庁の所管及びこれに関連すること)
- 豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会 委員

◇皆様のご意見をお聞かせ下さい◇

Information

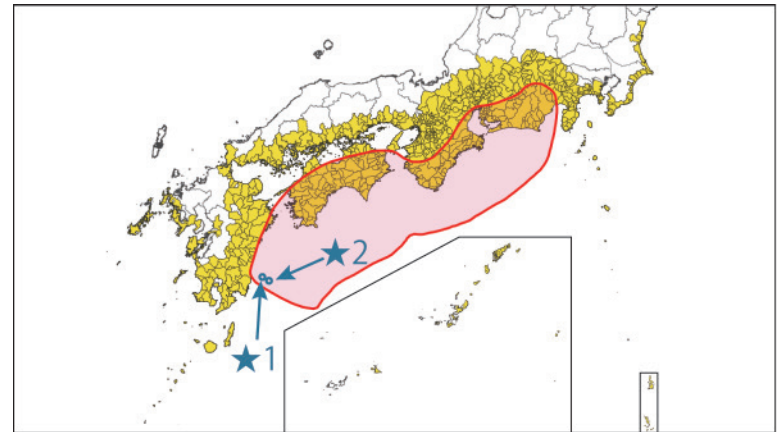
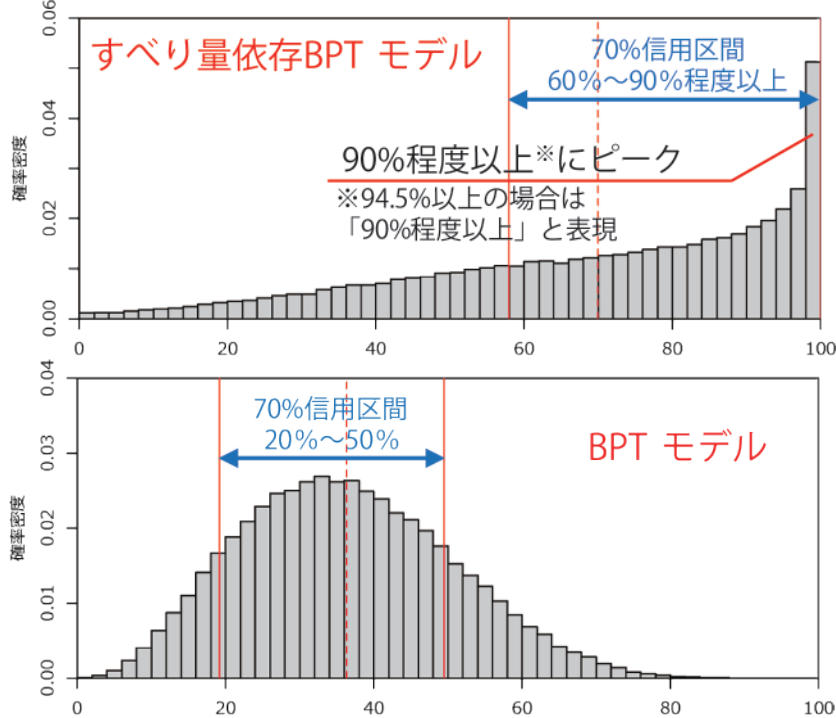


⑪南海トラフ地震の発生確率について、算出法を見直し

南海トラフ地震の発生確率が、今後30年以内に「80%程度」から「60%～90%程度以上」に変更されました。この変更は、過去の地震データに基づく誤差を考慮し、より正確な確率を算出するために行われました。

これまでの「80%程度」の算出には、江戸時代の2回の南海トラフ地震で高知県内の港が隆起した高さと、次の地震までの時間に関係性があるとする理論に基づいた「時間予測モデル」（計算手法）の1種類が使われてきました。ただ、根拠となる江戸時代の記録は古文書の解釈が分かれ、潮位の考慮などデータの精度に不明な点が多い、とする研究論文が昨年発表されたため、モデルに隆起量や計測値の不確かさを考慮できる計算手法の1つであるすべり量依存BPTモデルを取り込み、「80%程度」から「60～90%程度以上」に更新されました。誤差を反映するため、幅を持った数値になりました。

さらに、他地域の地震に使うBPTモデル（ブラウン緩和振動過程モデル）で計算した「20～50%」も、主な確率として新たに併記しています。防災対策では、より高い確率「60～90%程度以上」を重視することが推奨されています。



■南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる地域

〔南海トラフ地震防災対策推進地域〕

指定基準の概要

- ・震度6弱以上の地域
- ・津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- ・防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

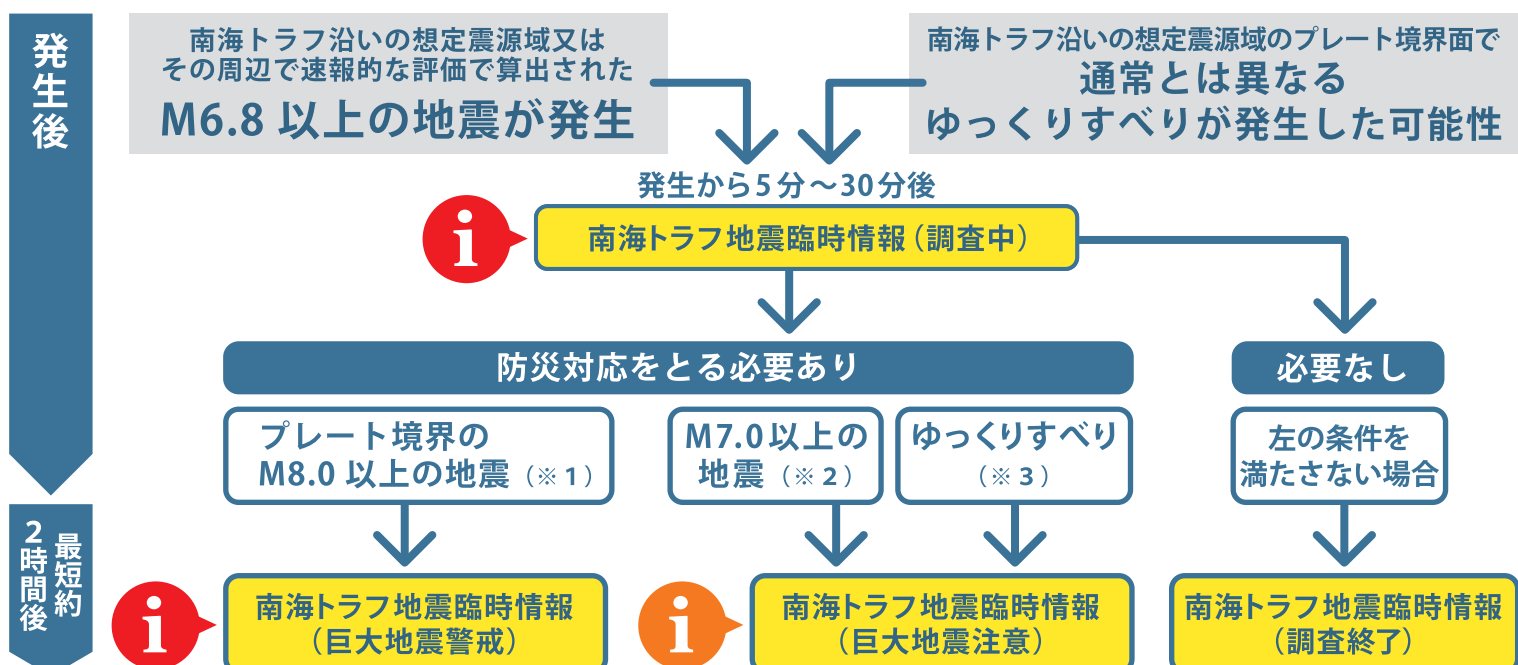
■南海トラフ巨大地震の想定震源域

★1 令和6年8月8日の日向灘の地震(M7.1) 巨大地震注意

★2 令和7年1月13日の日向灘の地震(M6.9) 調査終了

南海トラフにおける今後30年間に地震が発生する確率の分布
(赤実線は信用区間70%の範囲、赤点線は平均値、横軸は%)

気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されるまでの流れ



※1 想定震源域のプレート境界で M8.0 以上の地震が発生

※2 想定震源域、またはその周辺で M7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の M8.0 以上の地震を除く）

※3 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など

